

特集

農産物直売所 成功の秘訣

直売所の最新動向と大繁盛のポイント

有限会社ベネット代表取締役 青木 隆夫さん



プロフィール

あおき たかお
(有)ベネット代表取締役

農業書の出版のほか講演・農畜産物の販売支援を全国各地で手掛ける。農産物直売所の設立支援、経営指導などコンサルティングは全国で30カ所以上に及ぶ。



日本の直売所の仕組み

私達が一般的に農産物直売所（以下直売所）と呼んでいる仕組みは、世界から見ると特徴的です。欧米式の直売所といえばファーマーズマーケットがあります。これは生産者個人による対面販売が原則。農家が何人か集まって一人ひとりテントで販売しています。

日本の直売所は、この方式とは違い委託販売方式で、施設は共同利用。非対面販売所がほとんどです。これは、農家の規模や協同精神に違いがあるために起こっています。日本では、現在普及している方式が効率的で、よく合っていると私は思います。

直売所をめぐる動き

産直の歴史は、昭和3年に鎌倉の即売所で始まったといわれています。

現在の直売所に近い形となるレジスター・セルフサービス方式は東京青梅市の直売所で、昭和40年代に始まりました。そして、食料農業農村基本法（平成11年7月制定）以降、『農業の多面的機能』『地産地消』という言葉が生まれ、直売所が次々誕生しました。

平成22年に発表された農林業センサスによると、全国に16,824か所の直売所が存在し、今も増え続けています。栃木県では、約160店舗が存在しています。

近年は、異業種からの参入も増えており、直売所間の競争が激しくなっています。それに伴い、消費者が直売所に求める欲求も高度化しており、消費者はモノを買うことだけでなく、農業体験や食育活動、温泉など『買い物+娯楽+教養』を求める時代になってきました。

新たな顧客の創造

図1は直売所の主なメリットを挙げたものですが、この他に雇用の創出や地域特産物の掘り起こしなど地域に及ぼす経済効果も沢山あります。私に関わった直売所の地域も大きな成果を上げています。

私はなぜ直売所がこんなに成功しているのかを考えた時、直売所が新しい顧客を創造したのではないかと思いました。生産者の名前が入った袋を見て、この農家から直接手に入るといふ喜びを消費者に与えたので

す。それは、今までの売り方には無かった全く新しい方法です。消費者にとつて、同じ農産物なのですが、新鮮感や作り手の顔の見える安心感が量販店にない魅力を感じさせたのではないのでしょうか。

直売所が抱える問題

図2は全国の直売所が抱える問題です。出荷者の高齢化や品質管理、集客などが主に挙げられています。その中でも直売所の一番の目玉である新鮮な地場産農産物の品ぞろえを

充実させることと、農産加工品をどのようにして提供できるかが大きな課題です。野菜が山盛りで販売されているのは当たり前。それに加えて、ライバル店にない特別なブランド商品や選べる豊富さ、さまざまな価格帯の商品があることなど消費者の買い物を揺さぶるものが必要。バラエティとバリエーションをいかに提供できるかがポイントです。

地場産野菜の充実

地場産農産物を充実させるということは重要なことです。今の消費者は目が肥えているので、地元の商品がないと不満を持つようになっていきます。その不満を抱えた人たちはリピータになり、口コミをしてお客を呼んできたりはしません。

私はもし、宇都宮で直売所に取り組む場合には、市場仕入れをして他産地のもので無理に充実させるより、逆に商品がない時期があつてもいいのではないかと考えています。そのかわりに、旬の時期に美味しいイチゴや梨、そして野菜をしつかり消費者に提供するという方向性を見出すべきではないでしょうか。

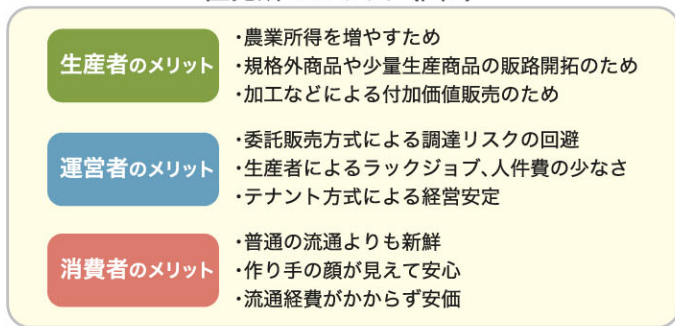
直売所の成功を持続させるには

何のために直売所をやるのかという意義や目的を明確化させることで『地域貢献』のためにやるのであれば、はつきりとした経営理念をオープン前に考えなくてはいけません。しっかりとした言葉で決めることです。それを踏まえ、きちんとした事業計画に沿って、生産者と運営者が協働体制で経営をしていくことが大切です。いくら店側が売ろうとしても生産者の協力がないと決してうまくはいきません。もちろん、生産者だけでもダメです。

独自性も大切です。大型直売所に対する欲求は非常に高いのです。どこにもあるようなものを消費者は求めていません。質の高い農畜産物など豊富な商品があるということに加え、GAPへの取り組みなど他店舗と差別化を図ること。消費者の欲求にこたえる学習機能施設も作らなければいけません。今挙げたことに加えて、生産者・運営者・地域の3つのバランスが大切なことを覚えてください。

※平成23年11月30日に実施した組合員集中講座の内容をまとめました。(文責＝総合企画課)

直売所のメリット(図1)



※ラックジョブとは、袋詰めなどの作業です。

農産物直売所が抱える問題について(図2)

「平成18年度農産物直売所の経営内容に関する全国実施調査」まちむらぎこう

